

市長日記

失敗にまつわる格言はたくさんあります。最も有名なのは「失敗は成功のもと」ではないでしょうか。マイクロソフト社の創業者ビル・ゲイツは、「成功を祝うことはいいが、もっと大切なのは失敗から学ぶことだ」と言っています。自動車王ヘンリー・フォードは、「唯一、本当の失敗とは、そこから何も学ばないことだ」と言っています。彼らは、失敗という「天からの贈り物」を、その後の人生に活かして、今日、私たちが知るような有名人になったのだと思います。

先日、自宅の片づけをしていたときのことです。倉庫の戸を無理に外そうとしたために、ガラスが割れて私の左手に破片が刺さってしまいました。知覚神経6本をつなぐ手術を受ける羽目になりましたが、全ては私の不注意が原因です。どこか心に油断があったのでしょうか、まさに失敗でした。

病院のベッドで、愚かなことをしたと反省をしつ

「天からの贈り物」

つ、この失敗は「天からの贈り物」で、「二階堂、慢心せずに謙虚であれ」と警告を発してくれたのではないかと、あらためて思ったところです。

私は、先に述べた偉人たちには及ぶべくもありませんが、これまでも失敗を糧に、それを乗り越えて来ました。まだまだ新発田には課題がたくさんあります。今回のことは、「今以上に真摯にまちづくりに向き合え」という警鐘であったと考えています。

それにしても、けがのせいでしばらくの間、公務を休まざるを得なくなりました。市民の皆様にご心配、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、より一層、馬力を掛けて市政運営に取り組みますので、ご協力をお願いいたします。



エフエムしばた FM76.9MHz

みんなのラジオ

【問合せ先】エフエムしばた(☎ 23-8800)

「城下町新発田まつり」はエフエムしばたで楽しもう！

皆さんこんにちは。エフエムしばた 伊藤^{かずき}和生です。いつも放送をお聴きいただき、ありがとうございます。

連日の暑さに負けてしまいそうですが、さらに熱気が増す「城下町新発田まつり」が、いよいよ今月、行われます。エフエムしばたでは、まつりの中心行事が行われる8月27日⑩から29日⑪までの3日間、「ヨリネス街角スタジオ」から公開特別番組を生放送します。まつりの様子をリアルタイムでお伝えするほか、歴史ある新発田台輪のあれこれ、交通情報など、地元の放送局ならではの視点でお届けしていきます。

また、まつり期間中に限らず、今月はおまつりムードが感じられる放送内容に変更し、新発田台輪では「なぜもみあいをするのか」「花段^{はなだん}に立つ理由は」など、

新発田まつりの豆知識も紹介していく予定です。「誰かに教えたくなること間違いなし！」の知識も盛りだくさんです。

まつり最終日には、スタジオの様子などを伝える「インターネット映像配信」にもチャレンジします。放送時間など詳しくは、エフエムしばたのホームページやfacebookでご確認ください。エフエムしばたといっしょに熱い夏を楽しみましょう。



▲昨年の城下町新発田まつりの様子

エフエムしばたで放送中
新発田市の番組

■新発田市情報BOX(毎日3回)

- ① 7:50 ~ 8:00
- ② 12:50 ~ 13:00
- ③ 18:50 ~ 19:00

■新発田市情報ランド

- 毎週金曜日 15:30 ~ 16:00
毎週土曜日 9:00 ~ 9:30 (再放送)

キラリ★しばた人

「手作りの庭」を通して みんなを笑顔にしたいんです

—— 肥田野敦子さん



▲「庭に植えた草花の生命力を感じてもらい、皆さんを元気にしたい」と語ってくれた肥田野さん。夏の暑さも顔負けの、熱い思いを感じました

現在、市内島潟にある「レストラン萌芽」で、庭作りをしている肥田野敦子さん。自らイメージした庭のデザインをもとに、土作り、花苗の育成・植栽はもとより、庭園内を飾る花壇や看板に至るまで、「手作りの庭」にこだわっています。



▲初めて作った自宅の庭をモチーフに自身が描いた絵

庭作りを始めたきっかけは？

二十数年前に家を持ったとき、「自分で緑豊かな庭を作りたい」と、自然に思いました。最初は趣味という感じでしたが、庭を見せたいという人が来るようになっていきました。いわば、オープンガーデンです。そこから、庭作りに本気で没頭していききました。

「手作りの庭にこだわる理由」は？

庭作りは、私自身を表現する手段だと思っています。だからこそ、庭に私の「念」を込め、自分の手で作り上げていきたいです。私の



▲レストラン萌芽の庭「叶音」

キャラクターと作品とのギャップを感じてもらおうのも楽しいですね。

大変なことや、やりがいを感じることは何ですか？

庭作りは、体力勝負です。でも、訪れた人が瞳を輝かせ、喜んで帰っていく様子を見ることが、何よりの喜びです。「萌芽」の隣には障がい者の福祉施設があつて、そこに通つて来る方が、庭を見て拍手をしてくれました。本当に嬉しかったです。

なぜ、「レストラン萌芽」に庭を作ろうと思ったのですか？

私の作った庭に共感して

くれた方が、「萌芽」を紹介してくれました。新発田に恩返しをしたいという思いもあり、ふるさとの地に庭を作ることにしました。

庭作りは私の天職であり、感謝の気持ちを表現するものでもあります。レストランに来る方や、福祉施設に通う方など、新発田の人々を笑顔にしたいです。

愛情を込めた「手作りの庭」を通じて、多くの人に笑顔をもたらしたいと語る肥田野さん。これからも素敵な庭を見せてほしいですね。